

なかつか 亮



首都直下大地震から住民の命と財産を守る対策強化を

住宅耐震診断無料条例を 区議会に提案しました

8区が無料化を導入 今すぐ品川区でも

木造住宅耐震化助成の比較

無料:8区

千代田、中央、港、世田谷、渋谷、中野、北、葛飾

8割助成:3区

台東、文京(高齢者)、板橋(整備地域内)

3分の2助成:6区

大田、杉並、豊島、荒川、練馬、杉並

2分の1助成:4区

品川、墨田、目黒、葛飾

(その他の新宿、江戸川は助成対象の制度が異なる)

—共産党区議団調査より—

6月21日より開催された区議会第2回定例会にて、共産党は「木造住宅耐震診断無料条例」を提出。「被害想定でも品川区は都内火災延焼ワースト1。住宅倒壊、火災の延焼を防ぐ住宅耐震化の支援強化に向け、今すぐ実施を」と他会派に賛同を求めました。採決では共産党のみの賛成で否決となり、今回の議会では実現しませんでした。が、今後も粘り強く求めていきます。

東京都が今年4月発表した首都直下大地震の新たな被害想定で、品川区は火災延焼32%。実に住宅戸数の3棟に1棟が全焼との想定に、区民の間に不安が広がっています。

この想定には雑居ビル火災や津波火災等は含まれず、実際はさらに深刻との指摘もあります。

共産党は被害を未然に防ぐ住宅耐震化を加速させるため、診断費無料を議員提案しました。裏

火災延焼による火災焼失棟数と焼失率（東京都4月発表より）

区名	焼失棟数	焼失率
千代田区	2	0.0%
中央区	101	0.5%
港区	276	0.8%
新宿区	2,179	3.9%
文京区	2,443	6.1%
台東区	2,730	6.6%
墨田区	9,341	19.7%
江東区	3,536	5.5%
品川区	21,569	31.9%
目黒区	11,232	20.8%
大田区	32,218	24.0%
世田谷区	22,455	13.4%
渋谷区	3,398	8.7%
中野区	7,222	10.7%
杉並区	23,028	19.8%
豊島区	1,355	2.5%
北区	643	0.9%
荒川区	5,521	13.7%
板橋区	760	0.7%
練馬区	3,106	2.2%
足立区	16,124	10.2%
葛飾区	11,114	10.2%
江戸川区	14,956	11.4%

被害想定ワースト1

東京都発表の被害想定では品川区は火災延焼ワースト1（左）。いつぼうで診断助成制度（一面）は23区で品川区は最低です。診断無料の提案について品川区長は「今は、考えていない」と難色。そこで議員提案しました。議員提案とは12分の1の議員賛同で条例を議会に提出し、過半数の賛成で実施させることができます。つまり

議会には首長が実施を拒んでも、議員過半数の賛成で可能なのです。**賛同得られず否決**

診断無料は、住宅の耐震状況をリアルに認識させ、改修工事に繋げる動機付けを作りま

す。また共産党は高齢者や所得の少ない世帯への改修工事に乗せ助成も求めています。

議員提案は6月25日建設委員会で審査されました。自民党は「簡易な診断で、改修工

に繋がれば良い」と反対。公明、民主、無所属も反対し条例は不成立に。今回は残念でしたが、実現するまで頑張ります。

首都直下地震の対策は時間との闘い。区内に新たな3路線道路建設に1300億円税金投入ではなく、住宅耐震支援や初期消火体制、災害弱者支援の強化など、区民の命と財産を守る防災対策こそ急務です。

なかつか亮

再稼働反対！首相官邸前抗議行動に参加

7月6日も首相官邸前の抗議行動に参加。今回は「当日スタッフが足りないので手伝ってほしい」との連絡を受け、交通整理係りをお手伝いしました。すると、音楽家の坂本龍一さんが登場。その後ろから、マスコミ取材が殺到。テレビ、ラジオ、新聞の記者が取り囲み、一時騒然となりました。坂本龍一さんが「再稼働反対」と訴えていたが、翌日になっても、この場面を報道したとの話を聞いていません。あれだけ取材しながら報道しないとは、いったい何なのか！！



7月6日 首相官邸近くにて